

ISHIDA

包
んで良し

運
んで良し

見
えて良し

袋長30mm分
フィルム使用量
削減

※商品による
※社内調べ

150mm

120mm

資材費
削減

80箱/パレット（箱/段：16、段数：5）

90箱/パレット（箱/段：18、段数：5）

輸送効率
UP

入荷から出荷まで生産ラインを見える化

工場
見える化

詳細はJAPAN PACK2025イシダブースで！

JAPAN PACK 2025

2025年10月7日（火）～10日（金） 東京ビッグサイト
東6ホール 6-528 でお待ちしております！

株式会社イシダ

https://www.ishida.co.jp

東京支社 東京都板橋区板橋1丁目52番1号 〒173-0004 TEL (03) 3962-4300（直）
大阪支店 大阪府吹田市江の木町26番20号 〒564-0053 TEL (06) 6310-9282（直）

製造情報は
こちら

日本包装産業展

パイオニア風力機

東伸

シンク・ラボラトリー

京町産業車輛

ハナガタ

トヨコン

花塚製作所

トーワテクノ

パイオニア風力機はクリーン環境機器の総合メーカー。グリーンルームダスターは同社の主力製品で、工場の入り口に設置して使用する。
秒速23以上の高速エアを装置の天井と左右側面の三方向から吹き出し、身体に付いた毛髪やゴミなどを吹き落とす。これらを床面から吸い取る独自の仕組みで、高い異物除去能力を発揮する。
このほか、靴底や車輪の汚れを瞬時に除去する高性能玄関マット「エアー吸着マット」や、高速空気噴流で通い箱のゴミや異物を吹き飛ばす「洗浄型バスボックス」などをそろえ、製品品質の向上と快適な職場環境の実現に貢献する。

東伸は高速でコンパクトな新型3機種、スリッター「eS」トリワインダー「eR」「mR」を披露する。使い手の安全・安心を高め、新素材対応や生産性向上に威力を発揮する。3機種はシンプルで設計、使いやすいさを追求。直観的に操作できるタッチパネルや連動動作を採用した。きめ細かい制御により、低張力から高張力まで張力変動を抑え、デリケートな新素材への対応を可能とした。
全方位から視認できるLED警告灯と、白を基調としたボディーカラーが特徴。レイアウト変更に対応したキャスター付き。標準オプションで欧州の安全規格「CEマーキング」にも対応している。

シンク・ラボラトリーは軟包装用水性インクジェットプリンター「FXJ」シリーズと自動検査機を搭載した自動レーザークラビ製版システム「NewFX3」を展示する。ペーパー研磨機のデモンストレーションや各種採用実製品の紹介も行う。
また10月16、17の両日、本社工場（千葉県柏市）にある第6工場をメイン会場とし、初のプライベート展示会も開催（事前登録制）。FXIJとNewFXの最新機種、版面検査機、ペーパー研磨機のデモを行う。
インクジェットパッケージ製造工場の最新動向を紹介するほか、大型加工対象物（ワイーク）対応のダイヤモンドライクカーボン（DLC）成膜工場も公開する。

京町産業車輛は荷役・運搬に関する省力化機器を手がける。今回は包装や梱包、製造物流の現場で活用できる製品を紹介する。
「ロール反転リフト」は包装資材などの重いロールを反転し、機械に装着する際に役立つ。内径・外径チャック式などを用意した。内径チャック式の「メガロール反転リフト」はロール芯内径3φ紙管で最大250φまで持ち上げられる。走行アシスト付きで容易に移動できる。
「インバーションリフト」はボタン操作で材料などの昇降や反転投入が可能。200φの大型ドラム缶による投入作業に対応できる。「ぐるんバ」袋タイプは業務用大袋の投入作業に適している。

ハナガタはフィルム包装機械のメーカー。製品企画や設計、部品製造、機械組み立てまで一貫対応できる。この強みを生かし、少ないフィルム使用量で、かつ端材を出さない「スクラップレス」の開発を進める。また、新素材のフィルムに熟を使ったシールが使えない場合を考慮、新たな方法の開発を進める。
同展では、大型幅広物に対応する「HG5-800」に開発中のシール機構を搭載して展示。顧客の反応や市場ニーズを確認する。そのほか、反物や長尺物に対応する「HG7-FA」や箱物をシヨリンク包装する「HP15-TT3502」、袋詰めを行う小型の手動機「HP-40R」を紹介する。

トヨコンは世界で6万社以上の取引実績を持つ米ランパックの国内正規販売代理店。ランパックの紙緩衝材製造システムに加え、自社開発の段ボール立体緩衝材「キャメルパッド」、エア緩衝材「エアークイック」などを出品する。
紙緩衝材はSDGSと脱プラスチックへの関心の高まりから、通販や製造現場で需要が伸びている。ランパックのシステムは1、2層の紙パッドを製造でき、中量物から重量物の梱包に適している。夏に国内販売を始めた新商品「フィルパックミニ」などもラインアップ。緩衝材、固定材、すき間埋め包装材、ラッピング資材など幅広い用途に利用できる。物流現場の人手不足、効率化にも貢献。

花塚製作所はステンレス製ポンプと定量充填機の専門メーカー。ステンレスルーツポンプ「CFシリーズ」は①低粘度から高粘度までの液体輸送に対応②接液部・駆動部の完全分離型で「分解・洗浄・組み立て」が容易③独自のメカニカルシールを採用し衛生的④吐出量の変化が少なく、任意設定が可能⑤自吸式で騒音がないなどの特徴を持つ。
定量充填機は連続・間欠運転とも安定した充填量で、量も変更しやすい。液切れに優れた特殊ノズル装置などを装備している。
液温は約10度Cから100度Cまで対応しており、食品や化粧品、化学品・薬品などを輸送できる。

トーワテクノは食品機械装置システムの開発・設計・製作を行うトータルエンジニアリング企業。今回、ヨーグルトやプリンなどのデザート向け大型角カップ専用充填機「U-FILLER」を展示する。
カップサイズが450φのヨーグルトであれば、1時間に3000個が生産可能。オプションとして、80φまでの小型丸カップにも対応できる。資材・包材・カップの供給口、オペレーターの操作盤を片面に集約させるなど、操作性も向上させた。
搬送方式をチェンリフト化することにより、チェーンの調整やメンテナンスが不要となり、コスト削減も図れるようにした。

JAPAN PACK 2025

10月7日～10日 / 東京ビッグサイト

TOWA TECHNO

Ecological Design
環境配慮

Hygienic Design
衛生的

Intelligent Design
知的

e-CASER
MODEL 749

近年、消費者の「食の安全」に対する意識は、より一層高まっています。私たちは食品生産に関わる一員として、自社の持つサニタリー配管技術・C.I.P.・S.I.P.技術を最大活用し、最適な衛生環境づくりを全力でサポートしてまいります。

地球環境に対する企業の社会的責任とその重要性は、論をまちません。私たちは食品機械のトータルエンジニアリング企業として、省エネルギーを考慮した機械装置・システムを提供することで、かけがえのない地球と豊かな社会づくりの共生を目指してまいります。

U-FILLER
MODEL 571

トーワテクノは牛乳乳瓶の自動冠帽機にはじまり、海苔自動切断包装機、紙パックカートの空中集積など、多分野で独自技術を開発し、社会に貢献してまいりました。創業以来、弊社に根付く「モノづくりの精神」を継承し、常に革新的なアイデアを生み出すことによって、より効率的な機械装置・システムを提供してまいります。

口栓付き
紙パック
プリン
豆腐
ブラケース
ダンボール

食品機械装置の明日を拓く

株式会社トーワテクノ

本社・広島工場：TEL 082-893-2111(代) FAX 082-893-2110
東京支店：TEL 03-3455-1581(代) FAX 03-3454-5457
東京工場：TEL 042-564-1531(代) FAX 042-564-0368

https://www.towatechno.co.jp

ジャパンパック2025に出展します！
小間No.5-605 東5ホール

パイオニアクリーン環境機器

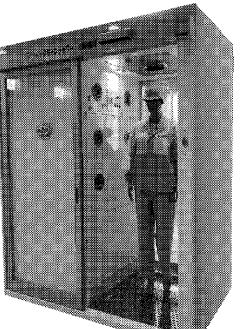
品質向上のために

クリーンルームダスター

(エアージャワー) ●PAT製品●

●3方向より同時吹き出し
全身に付着したゴミ
を吹き飛ばします。

●床面より吸い取る
噴射後の空気を足元
から吸い取って回収
します。



営業品目 クリーンルームダスター・シューズクリーナー・クリーンエアーカーテン・空気清浄機・エア吸着マット

あらゆるニーズに
パイオニア精神で挑戦します。

靴底を空気でキレイに

エア吸着マット

工場や事務所の通路。
エアージャワーの中に。

●PAT製品●

実機
ユニット

ブラシで掻き出し
エアで吸引
・設置もメンテナンス
・安全にも配慮
・マット

靴底の汚れは瞬時に集塵ユニットへ回収されます。



オーダーメイド対応

洗浄型パスボックス

「通箱」クリーニング

高速空気噴流でゴミ・
異物を吹き
飛ばす



特殊ノズル(PAT)で
袋物にも対応可能

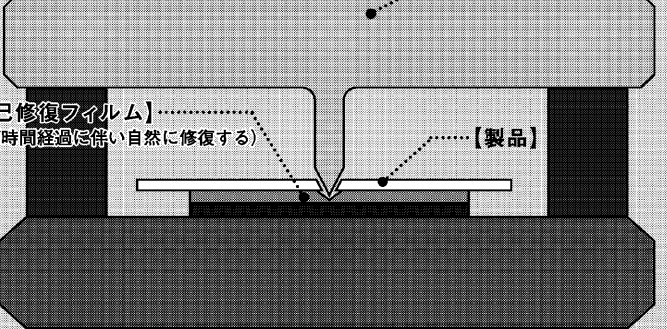
東5ホール
5-707

小間番号

JAPAN PACK 出展

自己修復フィルム(実用新案登録済み:3252711)を使用した連続打ち抜き可能な刃型

(刃型、彫刻刃)



自己修復フィルムとは、傷やへこみが時間変化に伴い自然に修復するフィルムの事です。当て板の代わりに自己修復フィルムを使用することで、加工毎にフィルム表面についた傷が自己修復され、連続での打ち抜きが可能となります。当て板に樹脂材を用いた場合に比べて、自己修復フィルムを用いることで連続打ち抜き回数が10倍以上になった実績があります。

一型入魂

一型入魂でお客様の
様々なニーズにお応えします。

KPG 協栄プリント技研(株) https://www.kpg.jp

東京ビッグサイト東展示棟4ホール
ブース番号: 4-319
会期: 2025年10月7日(火)~10日(金)

本社・工場 〒182-0025 東京都調布市多摩川1-21-1 TEL: 042-484-2151
中部工場 〒503-0654 岐阜県海津市海津町高須53-2 TEL: 0584-52-1860
東北サテライト 〒011-0911 秋田県秋田市飯島字野田107-17 TEL: 018-846-5050
大阪サテライト 〒598-0001 大阪府茨城市上瓦屋573-4 TEL: 072-458-7717

OMORI

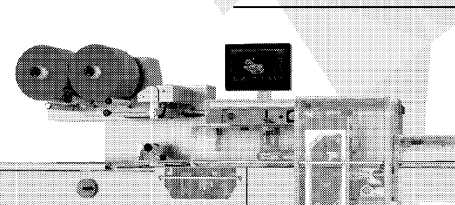
The thrill goes on

ユーザーフレンドリーを追求した
高速横ビロー自動包装机

NEW SUPER WRAPPER
NSW-7000

デジタルヒーター
搭載

シール品質の向上
ランニングコスト低減



10月7日・10日
東6ホール
6-710

大森機械工業株式会社

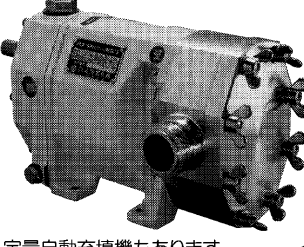
〒343-0822 埼玉県越谷市西方2761
TEL 048-988-2121 0120-89-2180
E-mail koho@omori.co.jp ホームページ https://www.omori.co.jp/

WEBサイトは
こちらから！



あらゆる種類の液体輸送に

ーシンプルな機構、洗浄が簡単ー



ステンレス
ルーツポンプCFシリーズ

化学、化粧品、薬品、食品など
新鮮さを送る液体輸送に
お役立て下さい。

小間番号 東6ホール 6-303

株式会社 花塚製作所

定置自動充填機もあります。
詳しくはカタログをご請求
下さい。

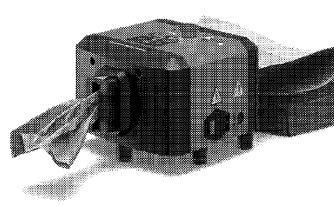
本社・工場 宇都宮市宝木本町1241番地 TEL 028(665)2831 FAX 028(665)1957
大阪営業所 大阪市淀川区西中島6-4-13 TEL 06(6885)8770 FAX 06(6885)8772
URL: http://www.hanatsuka.co.jp E-mail: eigyo@hanatsuka.co.jp

省スペースを実現!紙緩衝材製造システム

FillPak® Mini

今夏に国内販売開始されたばかりの新商品を展示

ホール: 東4ホール
小間番号: 4-601



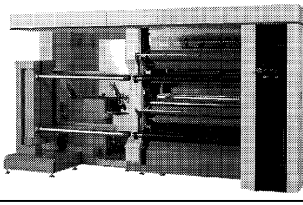
株式会社トヨコン

Ranpak国内正規販売代理店 URL: https://www.toyocongroup.co.jp/

人と機械が共存し、
生産性を高めた未来のカタチ

es!

◆安全・安心・新規性のある作業体験
◆環境対応と新素材への対応
◆生産性の大幅な向上
◆人間工学に基づく先進のデザイン



スリッター・リワインダーの専門ブランド JAPAN PACK 小間番号 7-505

株式会社 東伸

〒503-0985 岐阜県大垣市野口3-1-2 TEL (0584) 91-9111 FAX (0584) 91-9106
https://www.cstoshin.co.jp

大森機械工業株式会社

WEBサイトは
こちらから！



JAPAN PACK 2025

基調・特別講演、セッション・ディスカッション、見学ツアー予定表(9月29日時点。最新情報はJAPAN PACK公式サイトをご確認ください。)

10月7日(火)

DXステージ【東8ホール内】

■11:00-11:50 基調講演
製造業に対する最新のDX政策について
須賀 千鶴氏【経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長】

■13:40-15:10 特別セッション
食品産業を支える技術政策について
岡田 一郎氏【農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 原材料調達・品質管理改善室 室長】
味の素グループが実現するスマートファクトリーと生産設備アーク標準化の取り組み
海老澤 明彦氏【味の素食品(株) DX戦略推進部 事業推進グループ長】

GXステージ【東7ホール内】

■10:20-11:10 基調講演
成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取り組み
三牧 純一郎氏【経済産業省 イノベーション・環境局 資源循環経済課 課長】

■11:40-12:30 特別講演
包装容器のGXは、新たなシェアバランス競争で加速する
～持続可能な社会に向けたリサイクルリングの現状と課題～
神崎 敬三氏【東洋製罐グループホールディングス(株) 参事/【公社】日本包装技術協会 理事】

■13:00-14:00 特別講演
CLOMAのCircular 30 by 30 チャレンジ
澤田 道隆氏【クレーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA) 会長/花王(株) 特別顧問】

■14:30-16:30 CLOMAパネルディスカッション
連携をキーワードとしたサステナブル・エコノミーの実現
柳田 康一氏【クレーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA) 事務局次長】
セブン&アイHL DGSの目指すサステナブル・エコノミー
尾崎 一夫氏【(株)セブン&アイ・ホールディングス サステナビリティ推進室 業務推進役】
ヤクルトグループにおける資源循環の取り組み
久保 昌男氏【(株)ヤクルト本社 サステナビリティ推進室 資源循環推進 担当課長】
パッケージを取り巻く環境変化とこれからの環境配慮パッケージ
柴田 あゆみ氏【(大日本印刷(株)) Lifeデザイン事業部 第3ビジネスユニット 開発本部 サステナビリティ推進部 部長】
プラスチックリサイクルにおけるMIの可能性
小園 雄治氏【丸善産業(株) 代表取締役社長】

プレゼン会場B【東8ホール内】

■15:00-16:00 青年部会パネルディスカッション
日本包装機械工業会・青年部会の今と未来への大いなる一歩
～包装と自動化の未来にあるべき姿を考える～

10月8日(水)

DXステージ【東8ホール内】

■10:20-11:10 特別講演
スマートファクトリーの実現と環境にやさしい包装
高橋 誠一郎氏【(株)日清製粉グループ本社 取締役 常務執行役員 技術本部 部長】

GXステージ【東7ホール内】

■10:20-11:10 特別講演
食品容器包装の資源循環をめぐる情勢
鈴木 孝氏【農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室 室長】

プレゼン会場A【東7ホール内】

■15:30-16:30 特別セッション
題名のない包装談話ー包装のイメージメントー

包装×DX-GX見どころツアー

積極的にDX・GXを打ち出している包装機械メーカーの魅力や特徴を紹介！

■「包装×DX」見どころツアー
10月7日(火) 14:00-15:00 / 10月8日(水) 12:30-13:30 / 10月9日(木) 10:30-11:30
■「包装×GX」見どころツアー
10月7日(火) 12:30-13:30 / 10月8日(水) 11:00-12:00

包装業界見学ツアー ～学生・教職員向け～

包装について学んだ後、業界のトップ企業を見学。包装業界の魅力を体感できる。
10月7日(火)・10日(金) 10:30-12:00 / 10月8日(水)・9日(木) 15:00-16:30

研究成果発表ポスターセッション

日々の様々な研究・活動について「人と暮らし」「地球の未来」をテーマに学生が発表を行う。
10月10日(金) 14:30-15:10 テーマ「人と暮らし」
愛知県立大学、金沢工業大学、星城大学、日本女子大学
15:20-16:10 テーマ「地球の未来」
埼玉大学、十文字学園女子大学、大東文化大学、
山口東京理科大学

10月9日(木)

DXステージ【東8ホール内】

■13:00-14:00 パネルディスカッション「研究成果から見る日本の未来」
テーマ「包むで創る 人と暮らし 地球の未来」
パネリスト: 伊早坂 嗣氏【(一社)日本包装機械工業会 会長/【(株)川島製作所 代表取締役社長】
愛知県立大学、金沢工業大学、十文字学園女子大学、星城大学、日本女子大学の学生
モデレーター: 宇野 隆氏【(一社)日本包装機械工業会 常務理事/キンググループ 委員/【(株)フジキカイ 人事部 人材開発グループ 部長】

■14:30-15:20 包装×DX特別セッション
オンライン部品見積りも依頼システム「OMORI Web Parts Catalog」
鈴木 俊也氏【大森機械工業(株) 営業本部 大阪支店営業部 マネージャー】

深刻化する人手不足に向けて、物流・包装現場を変えていく。
神谷 宣明氏【ストラパック(株) 営業本部 国内営業部 システム営業課 副主事】
熱線者の「目」を超越する「食品工場での検査工程のブレークスルーと未来」
中野 雅文氏【(株)イシダ 第二開発部 システム開発二課 課長】

GXステージ【東7ホール内】

■10:20-11:20 包装ライフサイクルパネルディスカッション
協業によるパッケージの資源循環に向けた取組み
パネリスト: 宇野 隆氏【(一社)日本包装機械工業会 常務理事/キンググループ 委員/【(株)フジキカイ 人事部 人材開発グループ 部長】
根岸 和彦氏【アルムエム東セロ(株) 環境経営推進室 室長】
小石 茂喜氏【海谷工業(株) 上席執行役員 プラント技術本部 副本部長】

■11:50-12:40 包装×GX特別セッション
プラ使用量の削減に貢献する包装システム「PAMS」
大塚 文彦氏【日本ポリスター(株) 技術開発部 部長】
包装×GXで実現する環境対応印刷
河田 好彦氏【アルマーク(株) 専務取締役】
非加熱殺菌方式無菌水製造システム
小石 茂喜氏【海谷工業(株) 上席執行役員 プラント技術本部 副本部長】

■13:10-14:10 包装ライフサイクルパネルディスカッション
リサイクルPETボトルの将来
パネリスト: 古澤 栄一氏【協栄産業(株) 代表取締役社長】
関根 竜章氏【大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 第1ビジネスユニット 技術・開発本部 製品開発部】
モデレーター: 茂木 沙樹梨氏【大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 第3ビジネスユニット 開発本部 サステナビリティ推進部 第1グループ】

10月10日(金)

DXステージ【東8ホール内】

■10:20-11:10 特別講演
AIが変える食品サプライチェーンの未来～取引関係からパートナーシップへの変革とその実現～
深井 雅裕氏【(株)日清食品(株) 常務取締役 事業統括本部長 兼 Well-being推進部長】

■11:40-12:30 包装×DX特別セッション
管理棟・事務室からのリモートメンテナンス
中西 順一氏【イーデーエム(株) プロダクト推進本部 執行役員 統括部長】
見える化と予知保全への取り組み
平 慶大氏【(株)トバック 営業部 課長】
磁気浮上型搬送システムと映像技術で実現する次世代包装システム
石田 敏夫氏【(株)フジキカイ 技術本部 制御設計部 次長】

GXステージ【東7ホール内】

■10:20-11:10 包装×GX特別セッション
SMART GX PACKAGING SYSTEM ～モジュールで描く環境対応包装機～
小高 篤史氏【(株)川島製作所 業務執行役員 技術本部 技術部 次長】
環境配慮型ものづくりという挑戦
高木 陽介氏【イーデーエム(株) プロダクト推進本部 環境技術部 セネラルマネージャー】
レーザ溶着によるジッパーシール技術の開発
石本 宏泰氏【トナエ技研工業(株) 設計部】

■11:40-12:25 CLOMAセッション①
包装の「コスト」と「環境」は両立できる 岡本 龍彦氏【シンテックテクノロジ(株) 食品包装部 部長】
環境配慮型 A-PET容器及び耐熱容器のご紹介 兼山 明日風氏【東亜化学工業(株) 営業部 第一販売統括 第三セクション】
環境ラベル「エコマーク」活用のススメ 大澤 亮氏【(公社)日本環境協会 エコマーク事務局 基本・認証課 課長】

■13:00-14:00 CLOMAセッション②
LIMEXによる包装フィルムの環境負荷軽減 林 寛之氏【(株)TBM LIMEX事業本部 用途開発部】
世の中の石油由来の化学製品を植物、バイオマス由来に置き換える 高良平氏【GSアライアンス(株) 印刷部 印刷課 課長】
プラスチック包装の環境対応課題の解決-新しいPLA容器- 今井 玄典氏【NISHIDA(株) 包装材料事業部 事業統括 サステナブル開発グループ 部長】
プラスチックごみゼロへの挑戦 前原 志保氏【(株)プラスチックカンパニー(株) 営業部 営業企画課 課長】

■14:30-15:30 CLOMAセッション③
容器包装の資源循環、GHG排出削減に向けた取り組み 堀江 孝太氏【TOPPAN(株) 生産事業本部 SX推進センター SX事業開発部 マーケティング課】
アスカカンパニーのGX推進事例紹介 村瀬 貴浩氏【アスカカンパニー(株) 営業本部 商品企画グループ】
ポリスチレンの資源循環、バイオマス化に向けたPSJAPの取組み 多田 隆氏【PSJAP(株) 執行役員 企画開発課 兼 サステナビリティ推進課 課長】
パッケージロバダーとして新たな価値創出ー紙包装材の環境対応 橋本 修氏【レンガ(株) 中央研究所 プラスチックパッケージング研究開発部 部長】

樹脂と金属の複合技術提供に無限の可能性

真空成形

●商品パッケージ
●自動車部品用トレイ
●医療用トレイ
●搬送用トレイ

射出成形

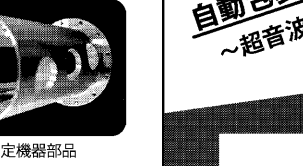
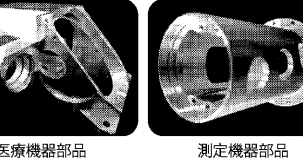
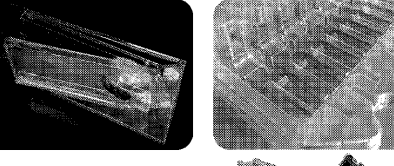
●収納ケース

ブロー成形

●各種タンク

金属加工

●5軸14軸を含む
MC67台/NC10台
●超精密金属切削加工
●医療機器・光学機器等精密機器組立
●高純度マグネシウム部品
●樹脂切削加工



医療機器部品 測定機器部品

お問い合わせ先

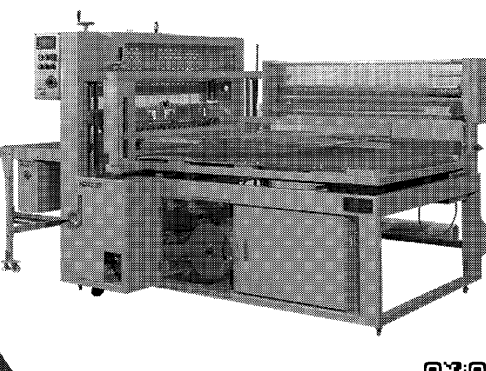
TEL 03-3695-6011

info@rayama.co.jp



自動包装機 HG-5-800

～超音波シール機構搭載～



包装機械・シュリンクトンネル・包装ライン

株式会社 ハナガタ

本社・工場 〒939-8033 富山県富山市横内417
東京営業所・CSセンター 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町12-7
/ショールーム 日本橋MMビル7F/1F
大阪営業所・ショールーム 〒540-0034 大阪府大阪市中央区島町2-4-9
島町第2野村ビル7F/1F
九州ショールーム 〒812-0004 福岡県福岡市博多区復興2丁目2-52

https://www.hanagata.co.jp

ロール反転リフト

内径チャック式

重いロールもらくらく反転、
機械への装着も容易にできます。

●荷重100kg ●反転手動式
●昇降電動式 ●チャック手動式



最大荷重
100kg~

型式:RT100-MHTJW

メガロール反転リフト

内径チャック式

ロール芯内径
3インチ紙管

アシスト付

最大
250kg



型式:RT250MDD-AS

インパーションリフト

電動
モーター式

ぐるんぱ
袋タイプ

粉粒体など
業務用大袋の
投入作業に

電動操作でラクらく投入

最大荷重
30kg~



型式:ILD

200Lドラム缶の
投入作業に
投入作業を
自動化し、省力化

JAPAN PACK 2025

小間番号 6-312

お客様の仕様に合わせてカスタマイズ対応可 デモ機貸出し対応可

KYOMACHI 京町産業車輛株式会社

https://kyomachi.net/

本社・工場 〒920-0848 石川県金沢市京町10番30号
TEL (076) 251-0111 FAX (076) 251-0012
東京営業所 〒113-0052 東京都江東区潮見2-1-3-407
TEL (03) 5677-1055 FAX (03) 5677-1066
大阪営業所 〒556-0065 大阪府高槻市城西町2-12-302
TEL (072) 9361-8062 FAX (072) 9361-8063

本社併設の展示場で製品を体感できます。

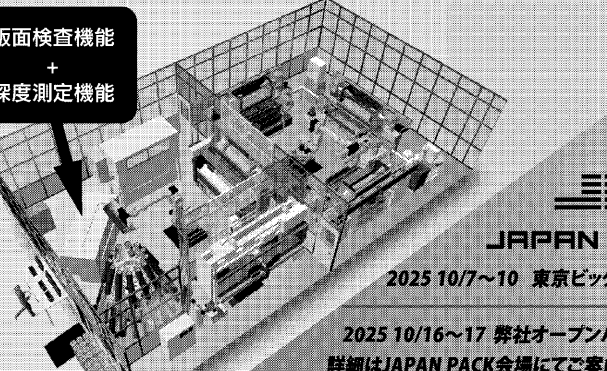
THINK LABORATORY

自動検査機搭載タイプ登場。

環境にやさしい自動レーザーグラフィ製版システム

New FX3 series

■シリクスビジョンとの共同開発による分解能10μm/画素
■高精度検査機搭載で、完全自動での検査工程をサポート



版面検査機能
+
深度測定機能

JAPAN PACK 2025

2025/7/7~10 東京ビッグサイト 7-527

2025/10/16~17 弊社オープンハウス開催
詳細はJAPAN PACK会場にてご案内致します!

コンバーター向モデル続々稼働開始!

軟包装用水性インクジェットプリンター

FXIJ Series

■アンカーレス水性インクで低コスト運用可能
■用途に応じた各種カスタマイズ対応可能

株式会社 シンク・ラボラトリー

http://www.think-lab.com

FXIJ type 500 FullAuto